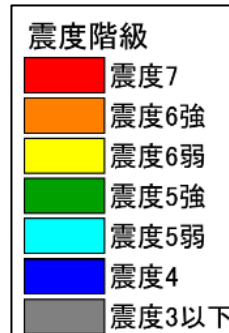
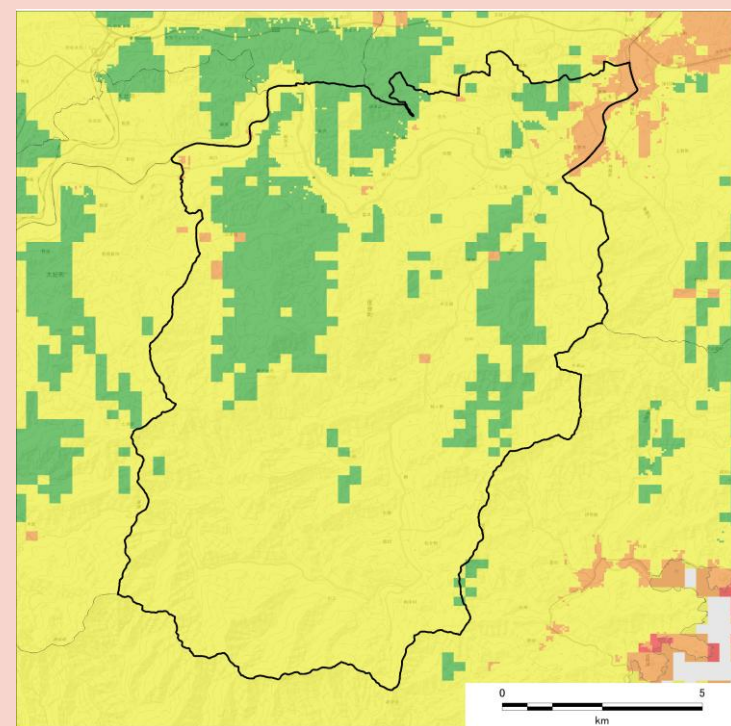
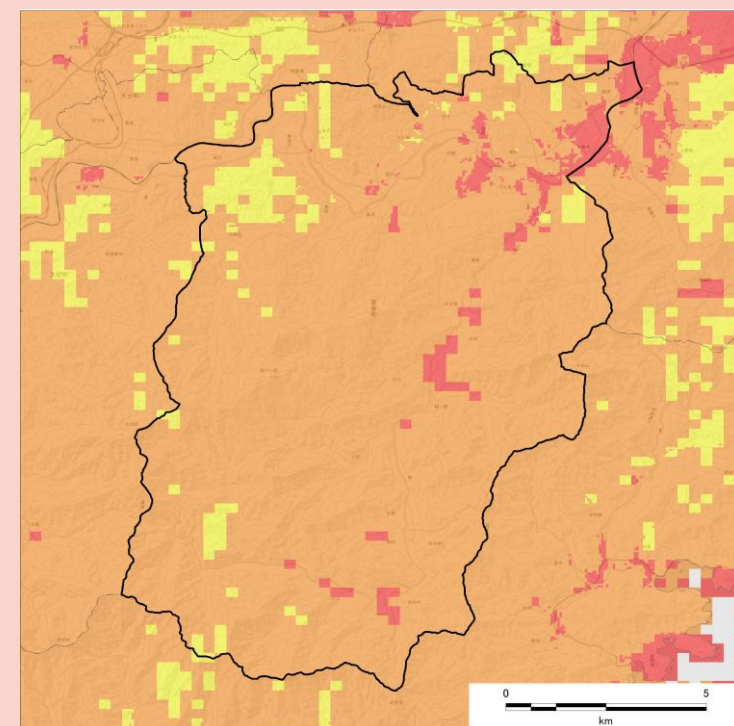


1. ハザード評価

(1) 地震動

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



< 震度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 135.0km²

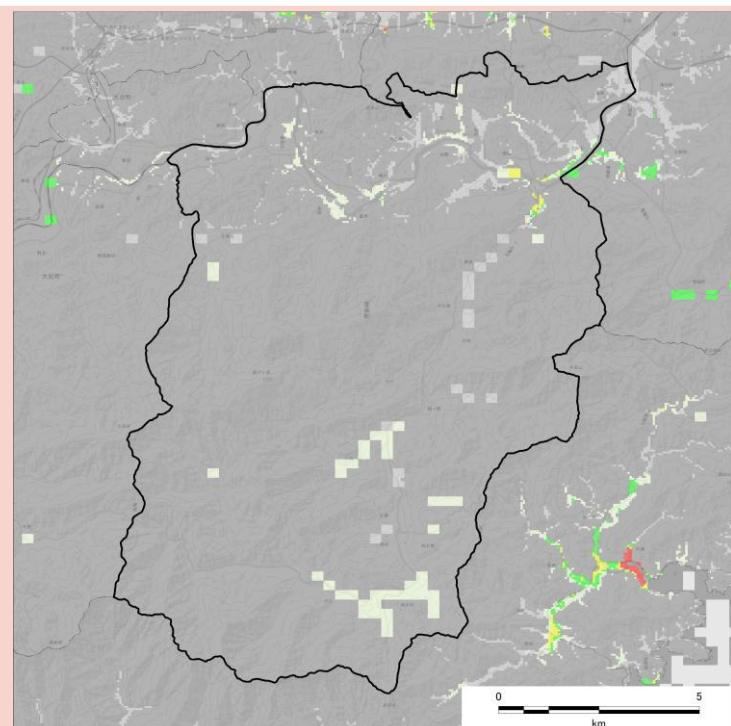
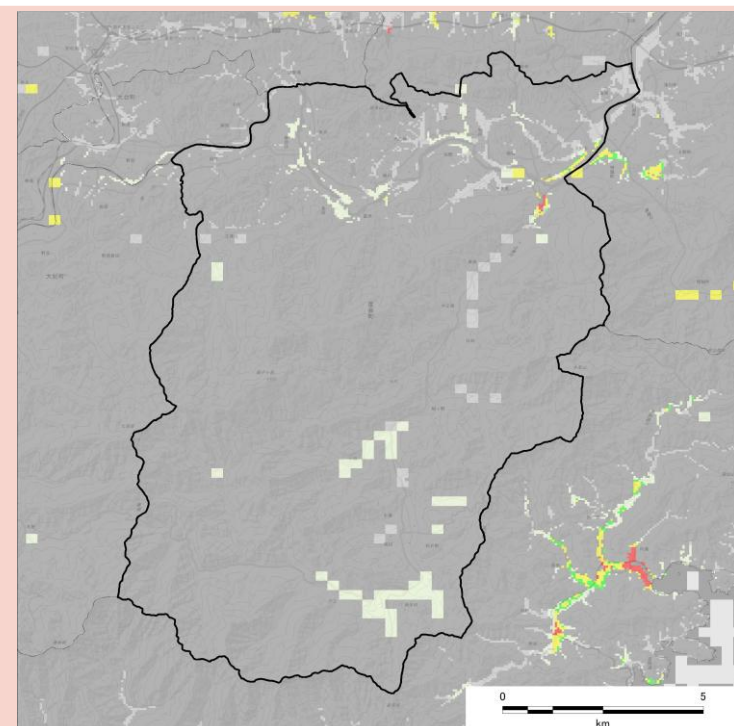
震度階級	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
7	5.7	4%	0.0	0%
6強	122.3	91%	2.2	2%
6弱	7.0	5%	105.7	78%
5強	0.0	0%	27.1	20%
5弱	0.0	0%	0.0	0%

※震度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

(2) 液状化

【L2】理論上最大クラス

【L1】過去最大クラス



< 液状化危険度別面積割合 >

(参考) 総面積 = 135.0km²

液状化危険度	【L2】理論上最大クラス		【L1】過去最大クラス	
	面積 (km ²)	割合	面積 (km ²)	割合
極めて高い	0.0	0%	0.0	0%
高い	0.2	1%未満	0.1	1%未満
低い	0.0	0%	0.1	1%未満
極めて低い	3.7	3%	3.8	3%
計算対象層なし 計算対象外	131.0	97%	131.0	97%

※液状化危険度別面積の合計は、四捨五入により総面積と一致しない場合があります。

2. リスク評価

(1) 人的被害

※季節・時間帯：冬・深夜

(2) 建物被害

※季節・時間帯：冬・夕方

(3) 火災被害

※季節・時間帯：冬・夕方

定量評価項目	L2	L1
死者数（人）	約70	約10
うち建物倒壊等	約70	約10
うち津波	-	-
うち急傾斜地崩壊等	-	-
うち火災	-	-
うちブロック塀 ・自動販売機転倒 および屋外落下物	-	-
重傷者数（人）	約100	約10
軽傷者数（人）	約200	約100
建物倒壊等による 自力脱出困難者数（人）	約200	約20
津波被害による 要救助者数（人）	-	-
津波被害による 要搜索者数（人）	-	-

定量評価項目	L2	L1
全壊・焼失棟数（棟）	約1,200	約100
うち揺れ	約1,200	約100
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	約20	約10
うち火災	約50	-
半壊棟数（棟）	約900	約500
うち揺れ	約900	約500
うち液状化	-	-
うち津波	-	-
うち急傾斜地	約40	約30
ブロック塀等の 転倒数（件）	約200	約60
自動販売機の 転倒数（件）	-	-
屋外落下物の 発生数（件）	約300	約10

定量評価項目	L2	L1
炎上出火件数（件）	-	-
残火災件数（件）	-	-
津波火災発生件数（件）	-	-

概観（理論上最大クラス）

【ハザード評価】

広い範囲で震度6強となり、一部では震度7に達します。

【リスク評価】

町全体の約2割の建物が全壊することで、古い家屋を中心に建物の倒壊等による死傷者や自力脱出困難者が発生します。

※「-」：わずか（5未満）

※端数処理のため、合計が各数値の和に一致しない場合がある。